

# 第2章 杉戸町の子どもと子育て家庭を取り巻く現状

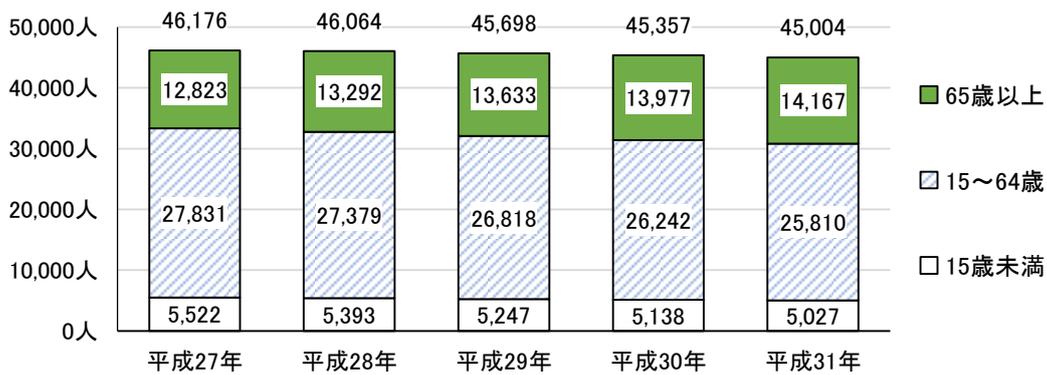
## 1 人口と世帯の状況

### (1) 総人口及び年齢3区分別人口

平成27年以降の本町の人口推移をみると、緩やかな減少傾向で推移しており、平成31年4月1日現在の人口は45,004人となっています。

年齢3区分人口の推移をみると、65歳以上の高齢者人口は増加傾向、15～64歳の生産年齢人口、15歳未満の年少人口はともに減少傾向で推移しており、徐々に少子高齢化が進んでいることがわかります。

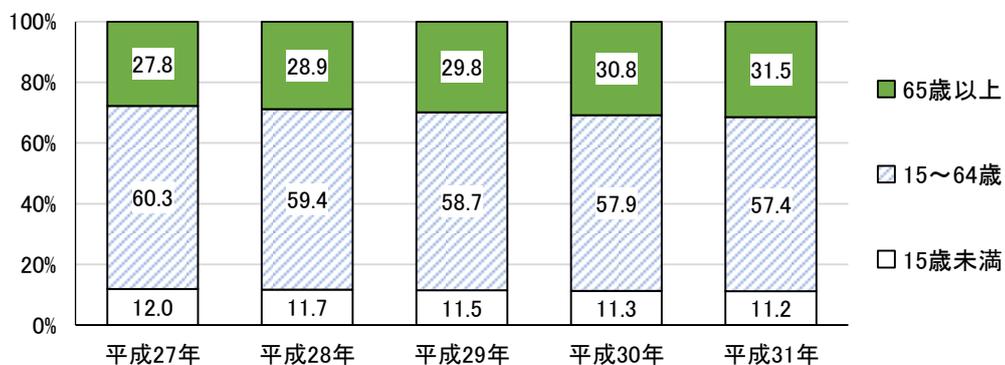
■総人口及び年齢3区分人口の推移



各年4月1日現在

資料：住民基本台帳

■年齢3区分人口構成比の推移



各年4月1日現在

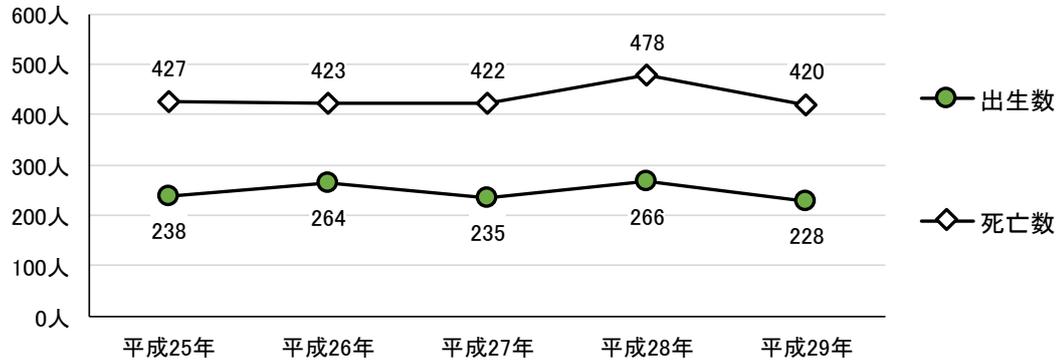
資料：住民基本台帳

注) 端数処理の関係で合計が100%にならないことがあります。以下同じ。

## (2) 自然動態

本町の出生数及び死亡数の推移をみると、いずれの年も死亡数が出生数を上回る自然減の状況にあります。

### ■出生数及び死亡数の推移

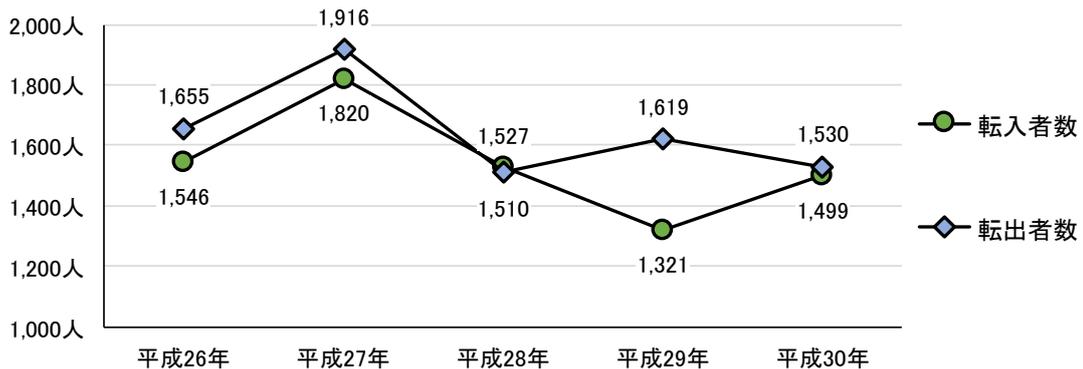


資料: 埼玉県保健統計年報

## (3) 社会動態

本町の転入者数及び転出者数の推移をみると、増減を繰り返していますが、過去5年のうち4年間は転出者数が転入者数を上回る社会減の状況です。

### ■転入者数及び転出者数の推移

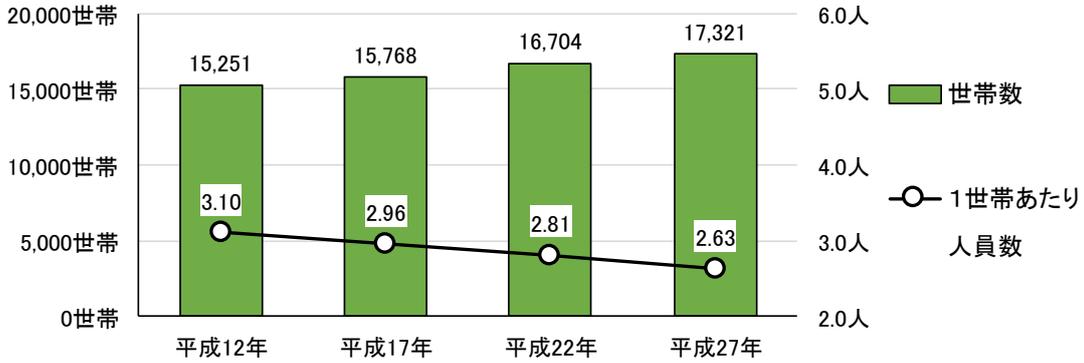


資料: 埼玉県推計人口(月報データ)

### (4) 世帯数

本町の世帯数は、年々増加しており、平成27年には17,321世帯となっています。  
 一方、1世帯あたり人員数は年々減少しており、核家族化が進んでいる状況がうかがえます。

■世帯数と1世帯あたり人員数の推移



資料:国勢調査

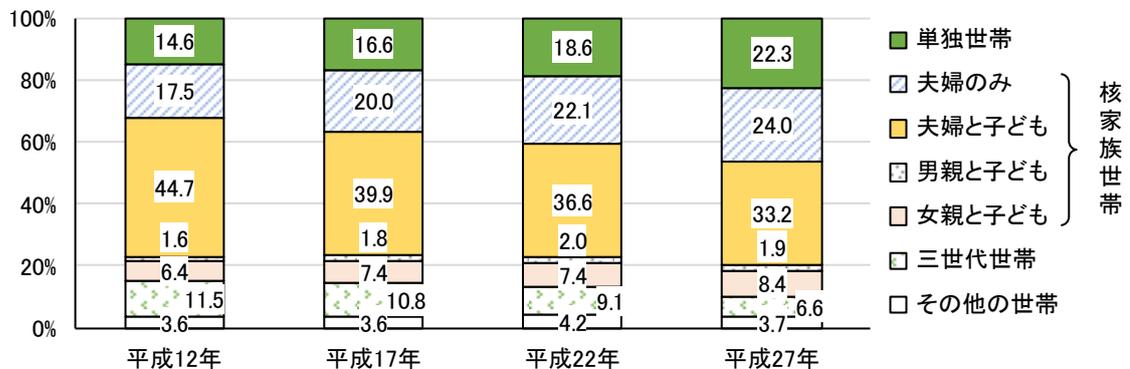
### (5) 世帯類型

本町の世帯類型をみると、単独世帯、核家族世帯のうち、夫婦のみ世帯の割合が年々増加しています。

核家族世帯の内訳をみると、夫婦と子どもの世帯の割合が減少し、夫婦のみの世帯やひとり親と子どもの世帯の割合が増加しています。

そのほか、三世帯世帯の割合も年々減少しています。

■世帯類型による世帯構成比の推移

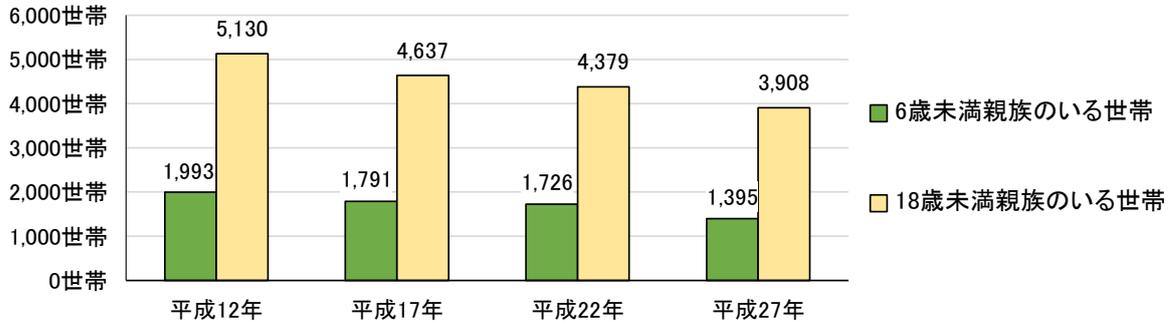


資料:国勢調査

### (6) 子どものいる世帯数

子どもがいる世帯数の推移をみると、近年減少傾向にあり、平成27年では6歳未満親族のいる世帯は1,395世帯、18歳未満親族のいる世帯は3,908世帯となっています。

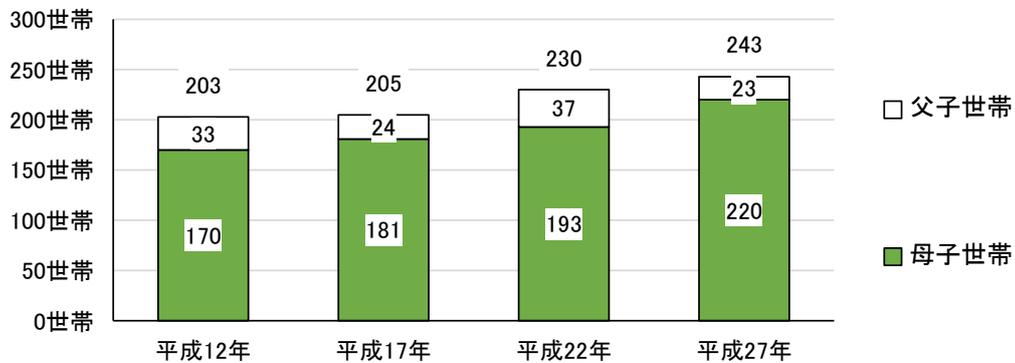
#### ■子どものいる世帯数の推移



資料：国勢調査

また、18歳未満の子どもがいるひとり親の世帯については増加傾向にあり、平成27年では母子世帯220世帯、父子世帯23世帯の計243世帯となっています。

#### ■18歳未満の子どもがいるひとり親の世帯数の推移



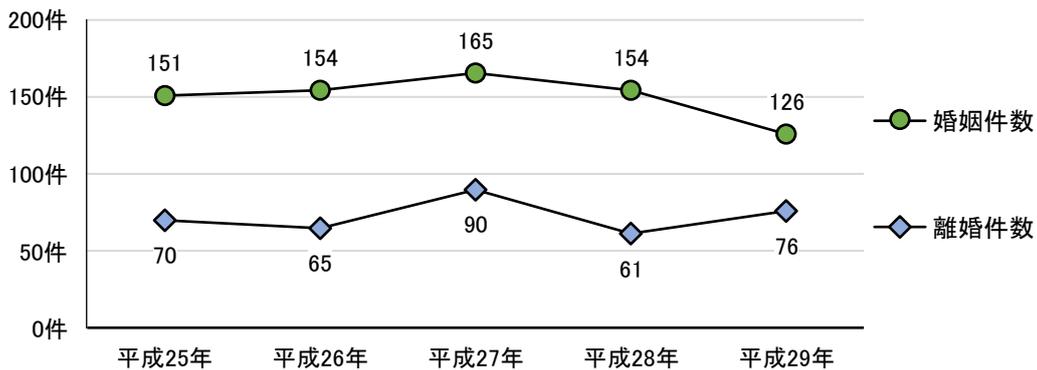
資料：国勢調査

## 2 婚姻・出産等の状況

### (1) 婚姻・離婚

本町の婚姻件数は平成28年以降減少が続き、平成29年では126件となっています。また、離婚件数は、平成29年では76件となっています。

■婚姻件数・離婚件数の推移

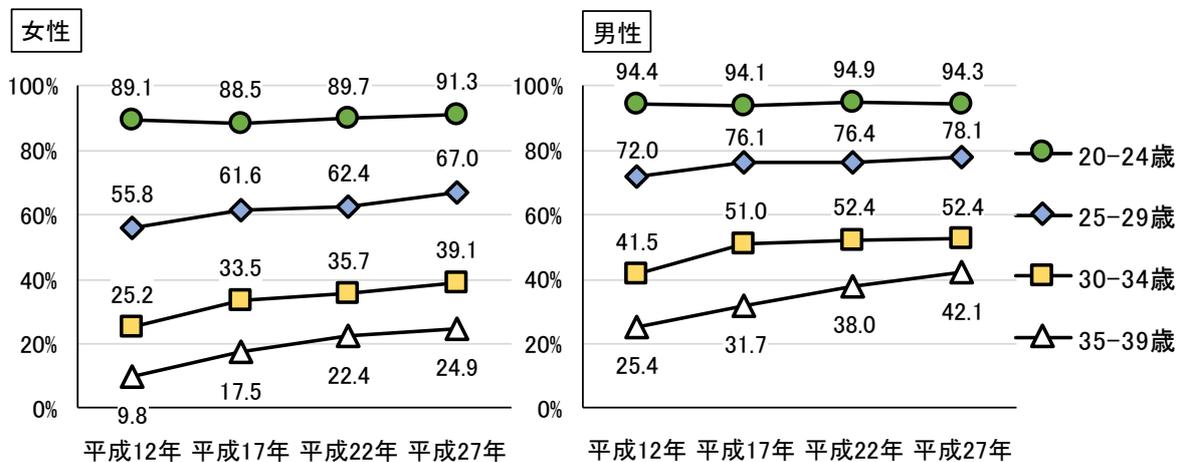


資料: 埼玉県保健統計年報

### (2) 未婚率

未婚率については、男女ともに低い年代ほど未婚率が高く、高い年代ほど低くなっています。年代別にみると、男性の20-24歳は高い水準で横ばいですが、それ以外の年代については、男女ともに増加傾向にあります。

■未婚率の推移



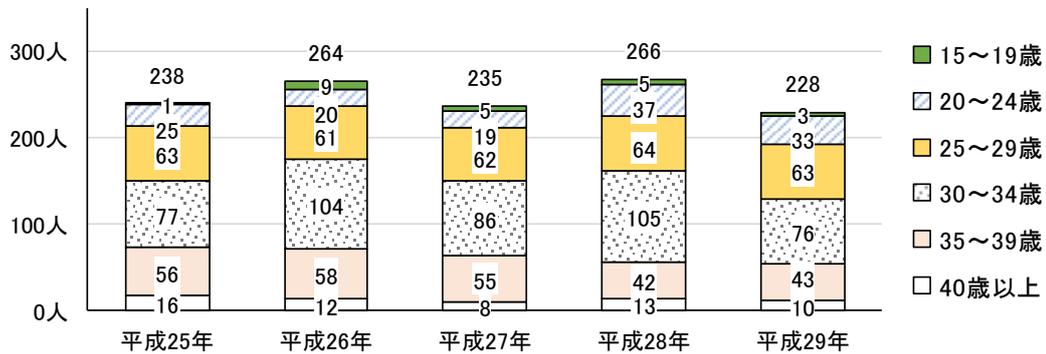
資料: 国勢調査

### (3) 出生数

本町の出生数は、増減を繰り返しており、平成29年は前年から減少し、228人となっています。

母親の年齢別出生数をみると、いずれの年も25～29歳と30～34歳における出生数が多くを占めている中で、平成28年から平成29年にかけては30～34歳の出生数の減少が目立っています。

#### ■母親の年齢別出生数の推移

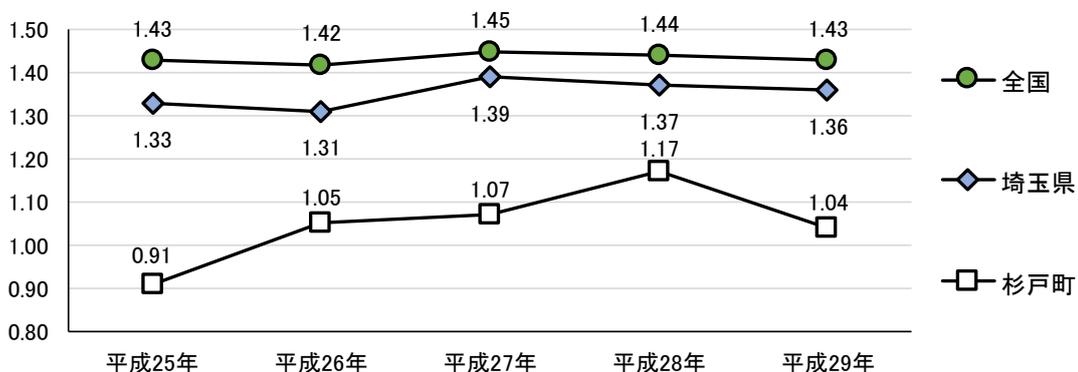


資料：埼玉県保健統計年報（年齢不詳は除く）

### (4) 合計特殊出生率

本町の合計特殊出生率は、過去5年、全国及び埼玉県の数値よりも低い水準で推移しており、平成29年では1.04となっています。

#### ■合計特殊出生率の推移



資料：埼玉県保健統計年報

合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

### (5) 児童数

本町の18歳未満の児童数の推移をみると、近年減少傾向にあり、平成31年4月1日では、6,245人となっています。

内訳については、0～5歳の就学前児童数は1,661人、6～11歳の小学生児童数は2,130人、12～14歳の中学生児童数は1,236人、15～17歳の児童数は1,218人となっており、いずれの年齢区分についても減少傾向にあります。

#### ■ 児童数の推移



各年4月1日現在

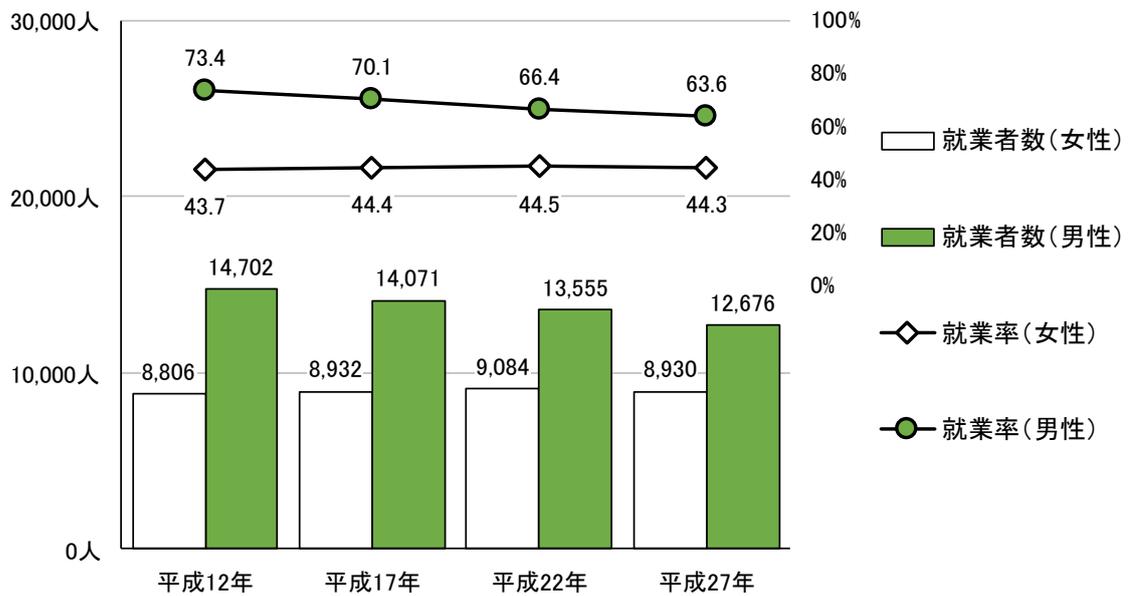
資料：住民基本台帳

### 3 就業の状況

#### (1) 就業者数・就業率

本町の就業者数・就業率は減少傾向にあり、男女別にみると、男性は減少していますが、女性はほぼ横ばいで推移しています。平成27年の就業者数は、女性が8,930人、男性が12,676人となっています。

#### ■ 就業者数・就業率の推移



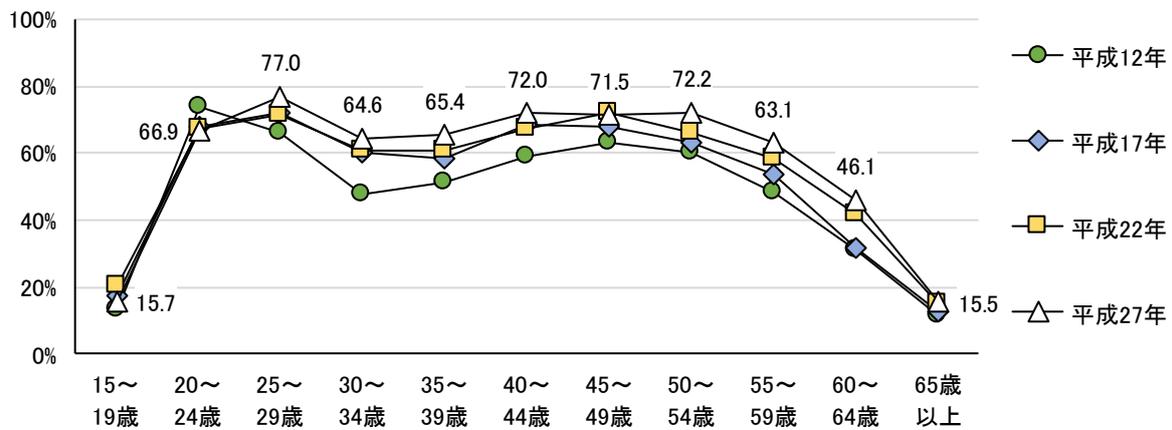
資料：国勢調査

## (2) 年齢別労働力率

年齢別の労働力率は男性が低下傾向にある中で、女性は上昇傾向にあり、働く女性の割合が増えています。

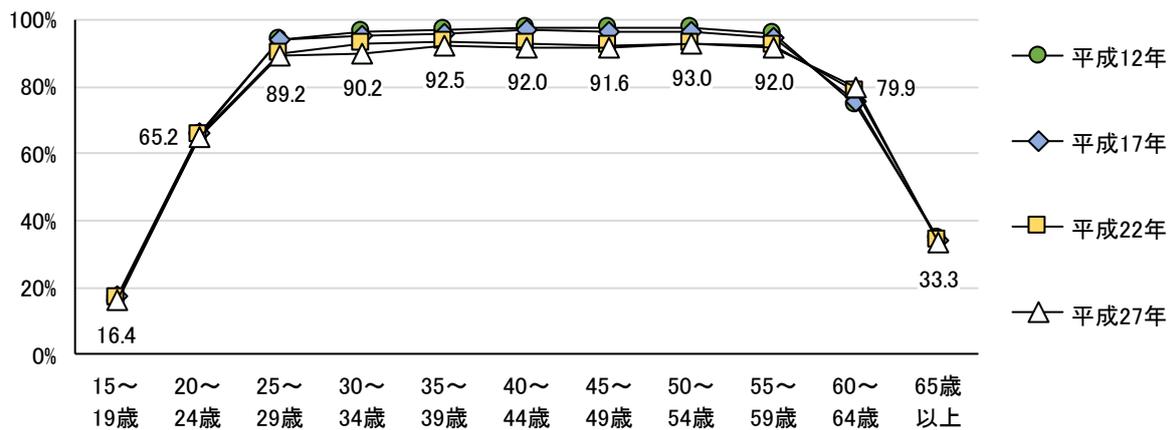
また、女性の年齢別の労働力率を年齢階級ごとにみると、25～29歳をピークに減少し、さらに40歳を超えると労働力率は再び高くなる「M字曲線」を示しています。30代前後で結婚や出産を理由として離職する割合が多くなっているものと考えられますが、そのカーブのへこみは近年緩やかになっています。

### ■女性の年齢別労働力率



資料：国勢調査

### ■男性の年齢別労働力率



資料：国勢調査

## 4 教育・保育事業の状況

### (1) 幼稚園

町内の幼稚園は、過去に公立が5園、私立が1園の計6園ありましたが、平成28年度末で公立3園を統合し、現在では、公立が3園、私立が1園の計4園となりました。

町内の幼稚園の在園児童数は減少傾向にあり、令和元年度5月1日現在では456人です。そのほか、町外の幼稚園に通う児童が94人おり、幼稚園在園児童数は550人となっています。

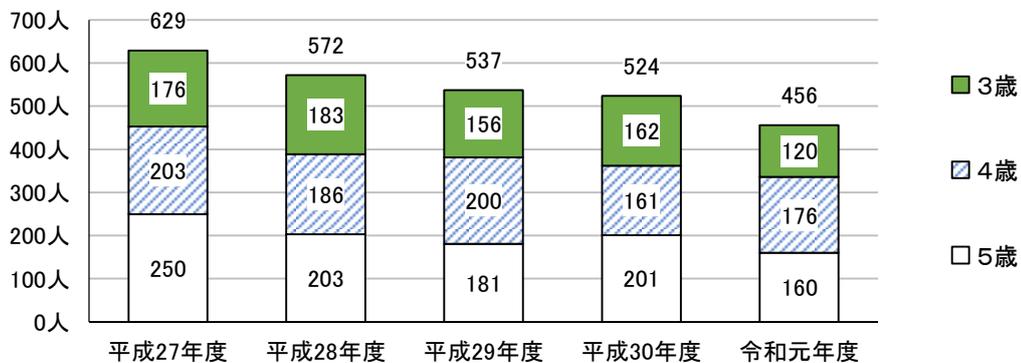
■町内の幼稚園の利用状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設数	6か所	6か所	4か所	4か所	4か所
定員	1,415人	1,415人	1,090人	1,090人	985人
在園児童数	629人	572人	537人	524人	456人
※町外幼稚園通園児童数	110人	101人	105人	87人	94人

各年度5月1日現在

資料：杉戸町 子育て支援課調べ

■町内の幼稚園における年齢別在園児童数



各年度5月1日現在

資料：杉戸町 子育て支援課調べ

## (2) 保育所（園）

町内の保育所（園）は、公立が3か所、私立が3か所の計6か所あります。在所児童数は、平成29年度以降、増加傾向で推移しており、令和元年度4月1日現在では504人となっています。

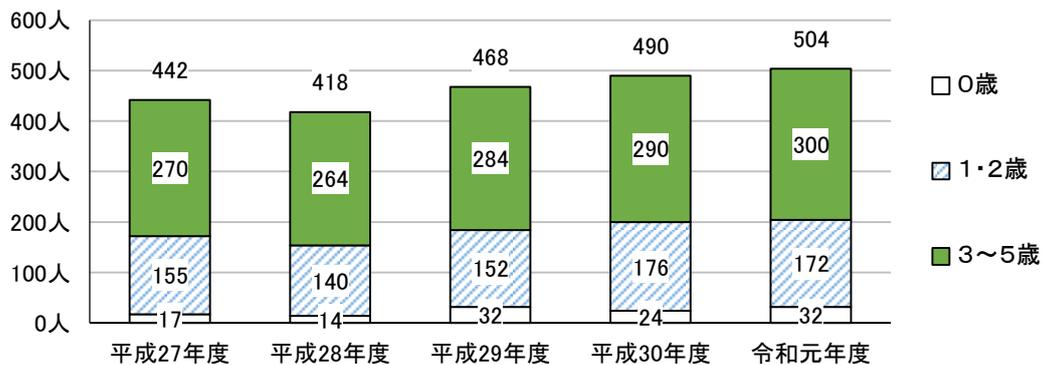
### ■町内の保育所（園）の利用状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設数	6か所	7か所	6か所	6か所	6か所
利用定員	447人	517人	497人	497人	497人
在所児童数	442人	418人	468人	490人	504人

各年度4月1日現在

資料：保育所月報

### ■町内の保育所（園）の年齢別在所児童数



各年度4月1日現在

資料：保育所月報

### (3) 小学校児童数

町内の小学校は、公立の小学校が6校あります。児童数は平成29年度以降減少傾向にあり、令和元年度5月1日現在では2,094人となっています。

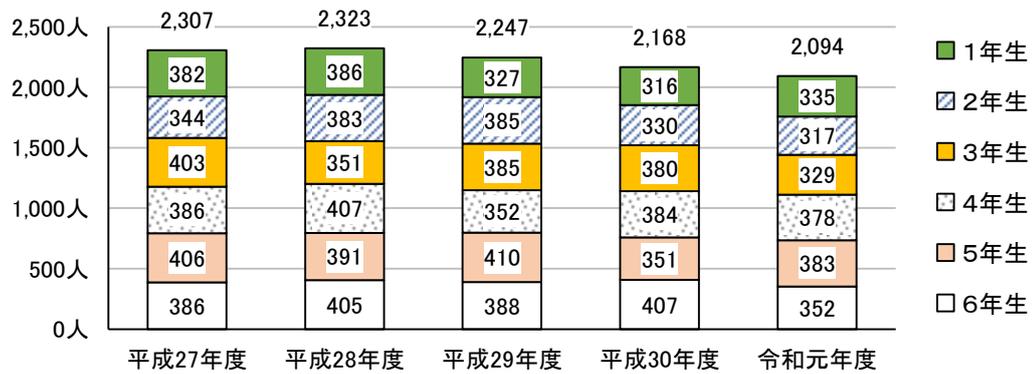
#### ■町内小学校の状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学 校 数	6校	6校	6校	6校	6校
学 級 数	86学級	89学級	85学級	83学級	81学級
うち特別支援学級	9学級	10学級	10学級	10学級	10学級

各年度5月1日現在

資料：学校基本調査

#### ■町内小学校の児童数



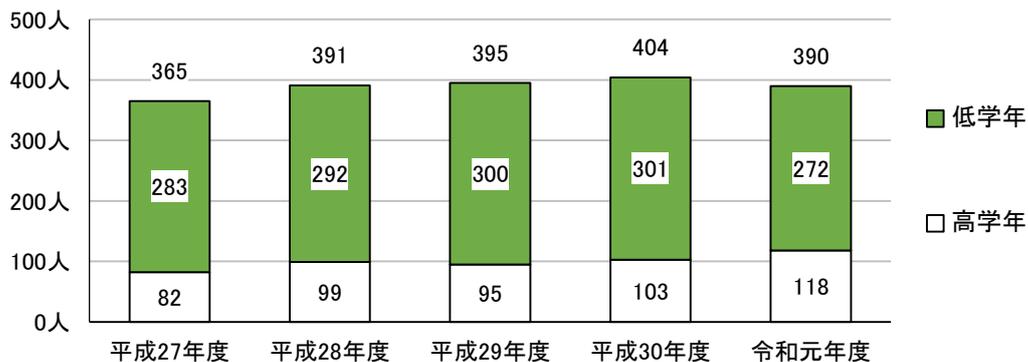
各年度5月1日現在

資料：学校基本調査

#### (4) 放課後児童クラブの利用者数

町内の放課後児童クラブは公立のクラブが7か所あります。利用者数は年々増加していましたが、令和元年度では前年度から減少に転じ、390人となっています。

■学童保育（放課後児童クラブ）の利用者数



各年度4月1日現在

資料：杉戸町 教育総務課

### (5) 中学校生徒数

町内の中学校は、公立の中学校が3校、私立の中学校が1校の計4校あります。

本町の中学校生徒数は、平成29年度以降は増加が続いていましたが、令和元年度は減少に転じ、令和元年度5月1日現在では1,473人となっています。

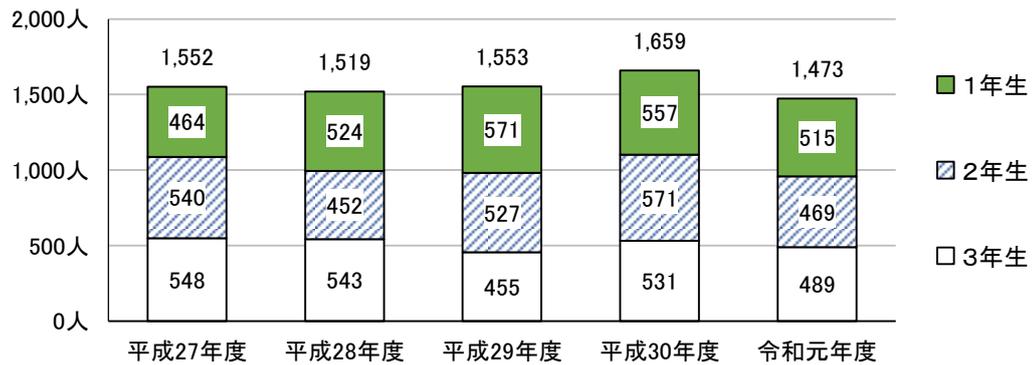
#### ■町内中学校の状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学 校 数	4校	4校	4校	4校	4校
学 級 数	47学級	48学級	48学級	48学級	49学級
うち特別支援学級	4学級	5学級	5学級	5学級	5学級

各年度5月1日現在

資料：学校基本調査

#### ■町内中学校の生徒数



各年度5月1日現在

資料：学校基本調査

## 5 ニーズ調査

### (1) 実施概要

調査の目的	保護者の就労状況や子育ての実情、教育・保育や子育て支援に関するニーズを把握し、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業のニーズ量算出をはじめ、得られた調査結果を計画に反映させる
調査対象	平成30年11月1日現在、本町在住の0歳から小学6年生までの児童の保護者から、児童の年齢、居住地区等の構成比を考慮した上で調査対象から無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
実施時期	平成30年12月

区分	配布数	有効回答数	有効回答率
① 就学前児童調査	1,000件	589件	58.9%
② 小学生調査	1,000件	543件	54.3%

(2) 調査結果

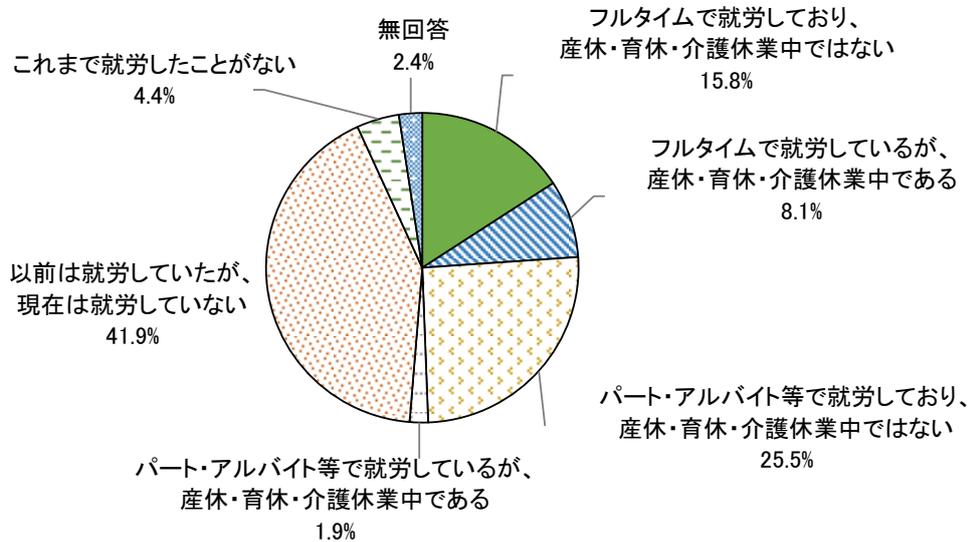
① 母親の就労状況【就学前児童】

●就学前児童の母親の現在の就労状況は、フルタイム就労が23.9%、パート・アルバイト就労が27.4%で、そのうち、10.0%は産休・育休取得中となっています。

●就労していない人は、46.3%です。

母親の現在の就労状況

(n=589)

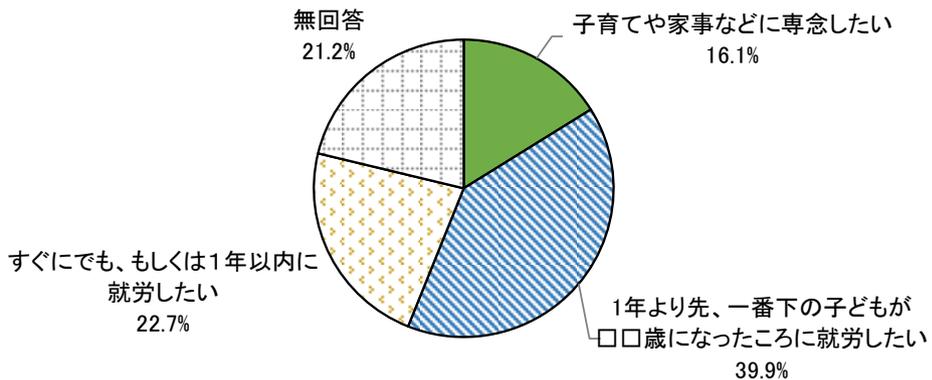


② 働いていない母親の就労意向【就学前児童】

●現在就労していない母親の6割以上が就労を希望しています。

【就労していない母親】  
就労したいという希望はありますか

(n=273)

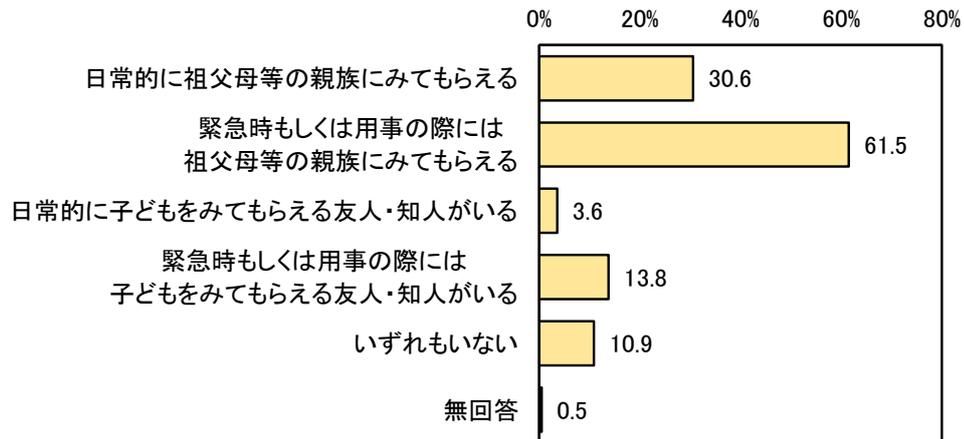


③ 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無【就学前児童】

- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.5%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が30.6%。
- 一方、10.9%は「いずれもない」と回答している。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人（あてはまるものすべてに○）

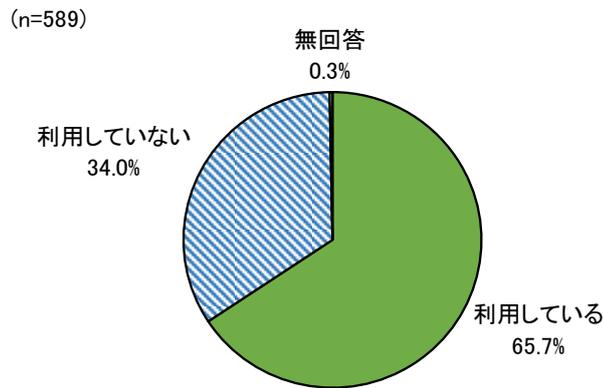
(n=589)



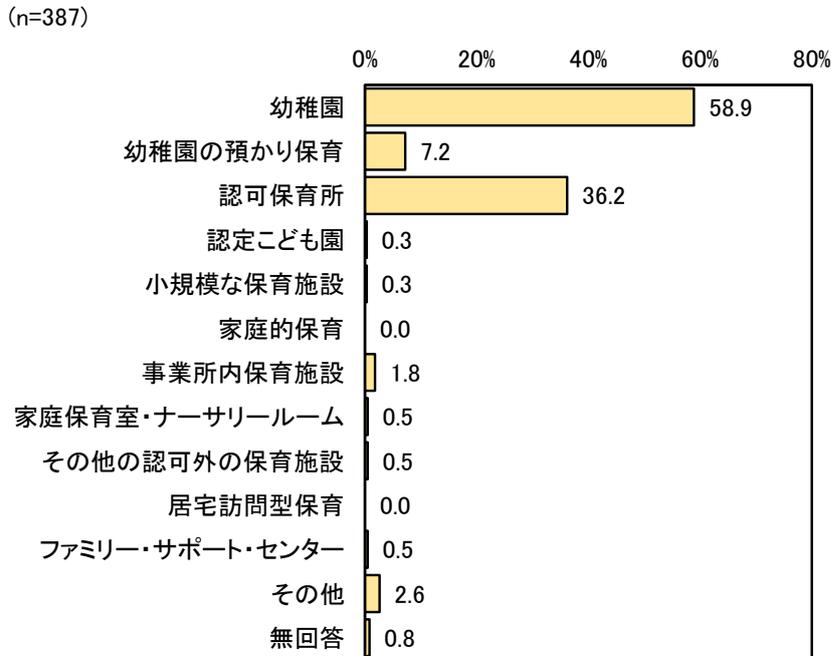
④ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況【就学前児童】

- 平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」割合は、全体の65.7%。
- 利用している事業については、「幼稚園」が58.9%で最も多く、以下、「認可保育所」が36.2%、「幼稚園の預かり保育」が7.2%、「事業所内保育施設」が1.8%、「家庭保育室・ナーサリールーム」が0.5%など。
- 利用している場所については、「杉戸町内」が87.6%。

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用しているか



【利用している方】⇒ 平日利用している教育・保育事業（複数回答）

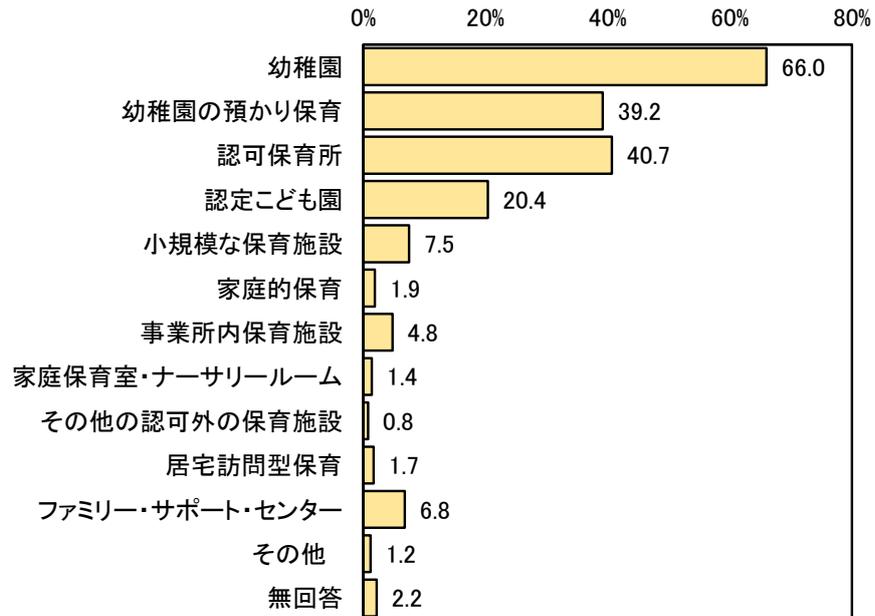


⑤ 定期的にご利用したい教育・保育事業【就学前児童】

- 今後定期的にご利用したい事業は、「幼稚園」が66.0%で最も多く、以下、「認可保育所」が40.7%、「幼稚園の預かり保育」が39.2%、「認定こども園」が20.4%など。
- 事業を利用したい場所については、「杉戸町内」が90.0%となっています。

平日、定期的にご利用したい教育・保育事業（複数回答）

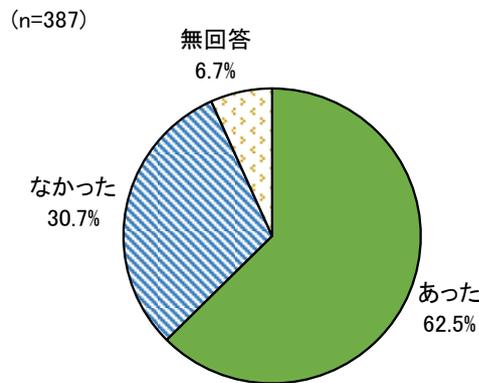
(n=589)



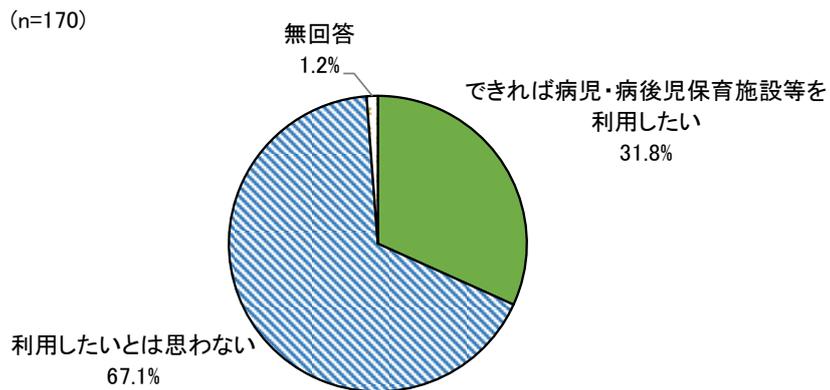
⑥ 子どもが病気の時の一時的な保育【就学前児童】

- 就学前児童について、平日の教育・保育事業を利用している方のうち、子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」人は62.5%。
- そのような場合の1年間における対処方法を尋ねたところ、「母親が休んだ」が68.2%で最も多く、以下、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が28.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.2%、「父親が休んだ」が21.5%、「病児・病後児の保育を利用した」が11.2%など。
- 対処方法として、父母のいずれかが休んだ人のうちの31.8%が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答。

【教育・保育事業を利用している方】  
→ 子どもの病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことはあったか



【あった⇒父母のいずれかが休んで対処した方】  
→ その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかったか

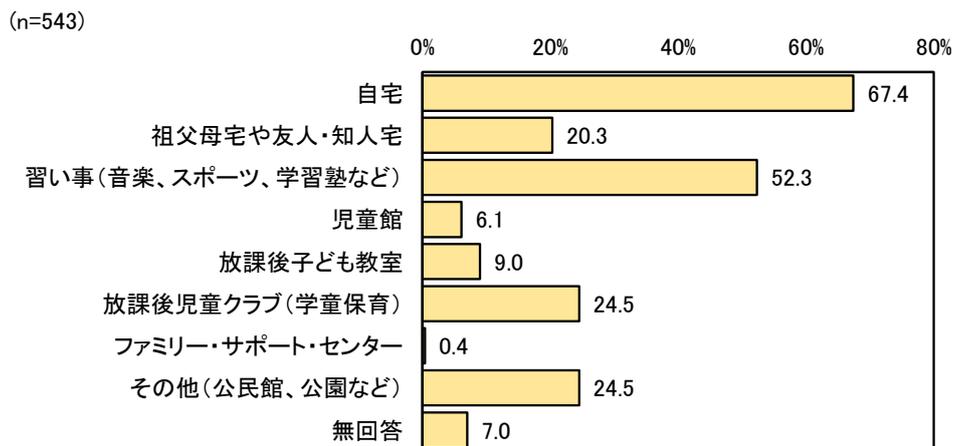


⑦ 放課後児童クラブの利用希望【小学生】

< 低学年時 >

- 小学校低学年（1～3年生）時に放課後の時間を過ごさせたい場所としては、「自宅」が67.4%で最も多い。
- 「放課後児童クラブ（学童保育）」が24.5%。

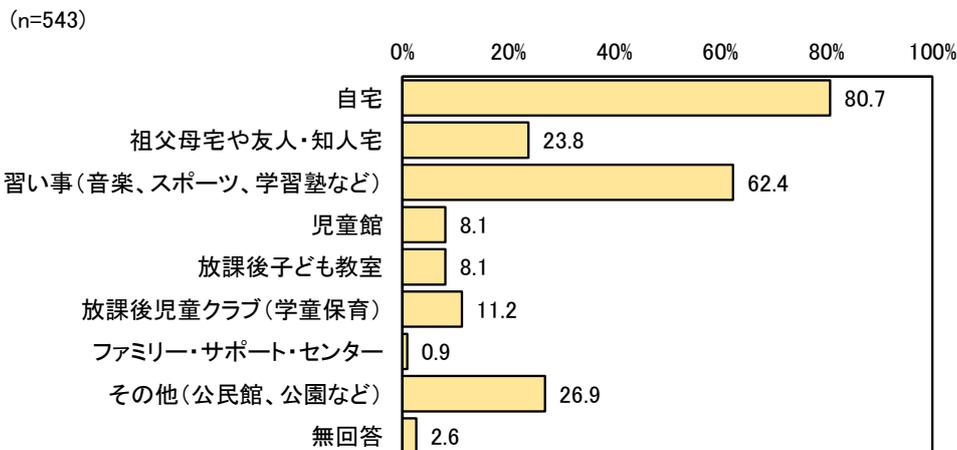
小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後過ごさせたい場所（複数回答）



< 高学年時 >

- 小学校高学年（4～6年生）時に放課後の時間を過ごさせたい場所としては、「自宅」が80.7%で最も多い。
- 「放課後児童クラブ（学童保育）」が11.2%。

小学校高学年（4～6年生）時に放課後過ごさせたい場所（複数回答）



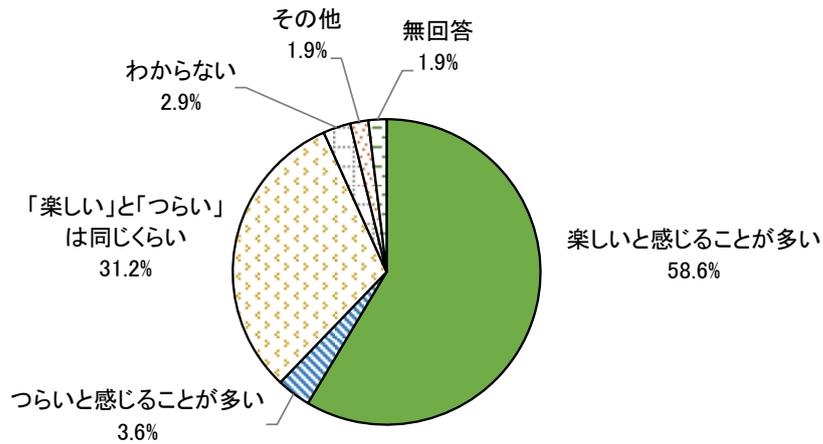
⑧ 子育ては楽しいか

●就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも、子育てを「楽しいと感じることが多い」が過半数を占めている点で共通しており、その割合についても、就学前児童保護者では58.6%、小学生保護者では57.3%でほぼ同程度となっています。

自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思うか

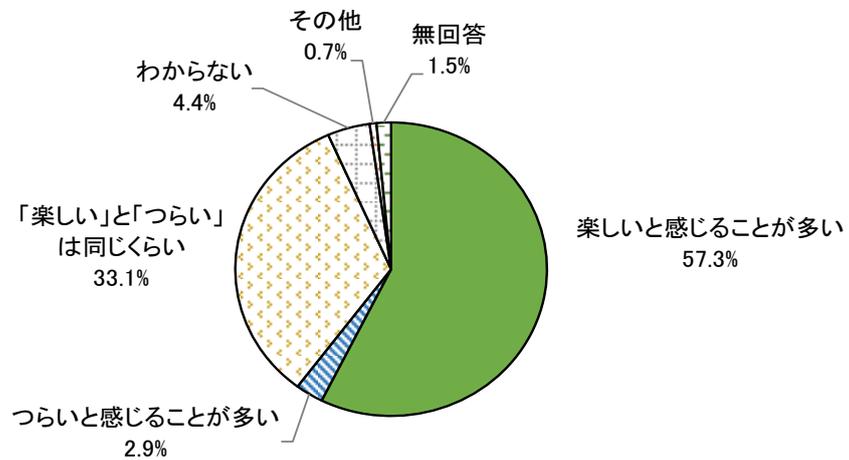
①就学前児童

(n=589)



②小学生

(n=543)



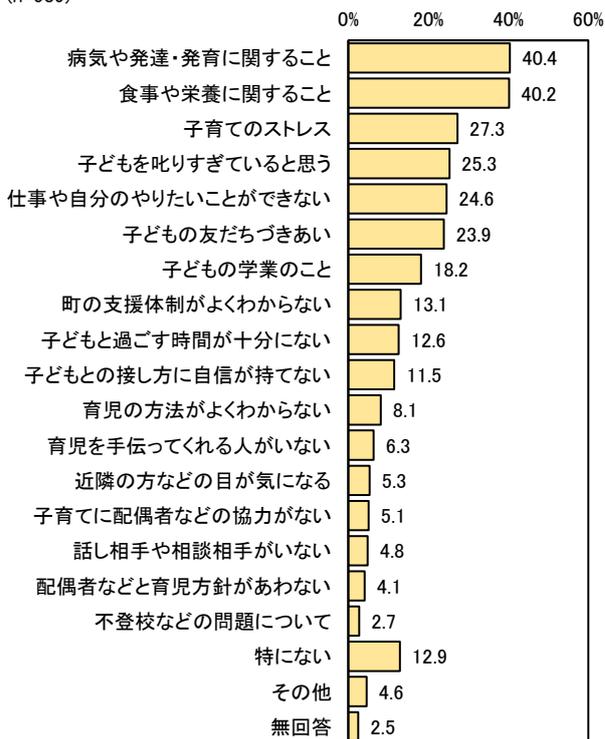
⑨ 子育てに関して日頃悩んでいることや気になること

- 子育てに関して日頃悩んでいることや気になることについて尋ねたところ、就学前児童の保護者と小学生の保護者とでは回答傾向に違いがみられます。
- 就学前児童の保護者については、「病気や発達・発育に関すること」が40.4%、「食事や栄養に関すること」が40.2%で特に多く、「子育てのストレス」が27.3%、「子どもを叱りすぎていると思う」が25.3%、「仕事や自分のやりたいことができない」が24.6%、「子どもの友だちづきあい」が23.9%などとなっています。
- 小学生の保護者については、「子どもの学業のこと」が33.5%で最も多く、以下、「子どもの友だちづきあい」が30.9%、「病気や発達・発育に関すること」が23.0%、「子どもを叱りすぎていると思う」が21.4%、「食事や栄養に関すること」が21.0%などとなっています。

子育てに関して日頃悩んでいることや気になること（複数回答）

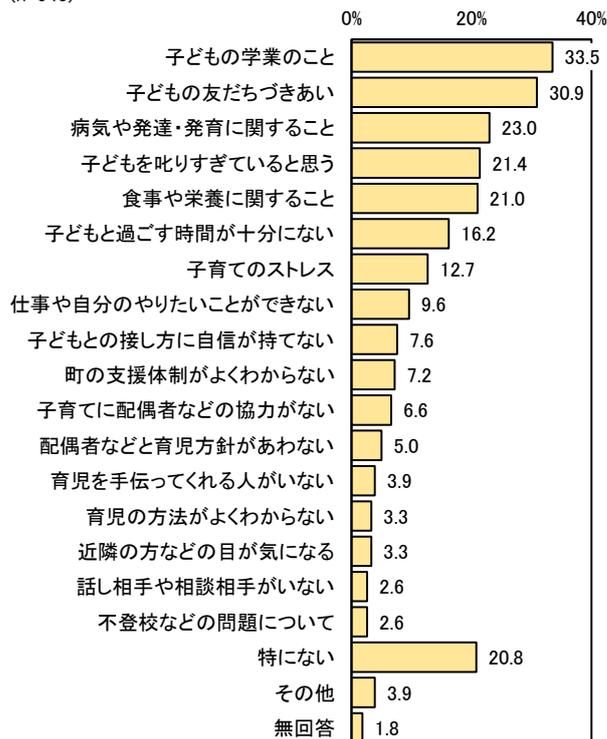
①就学前児童

(n=589)



②小学生

(n=543)

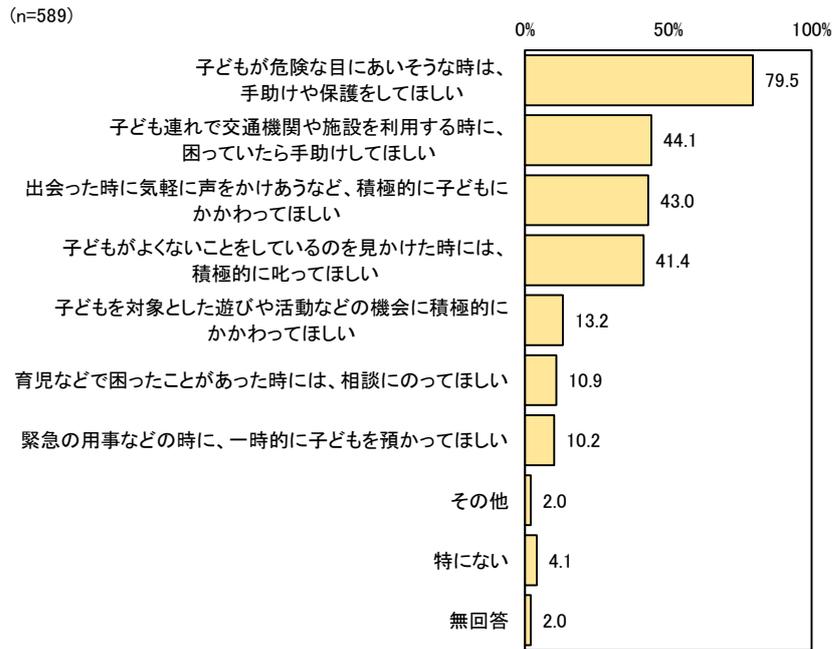


⑩ 近隣・地域の人に求める子育てへの関わり方

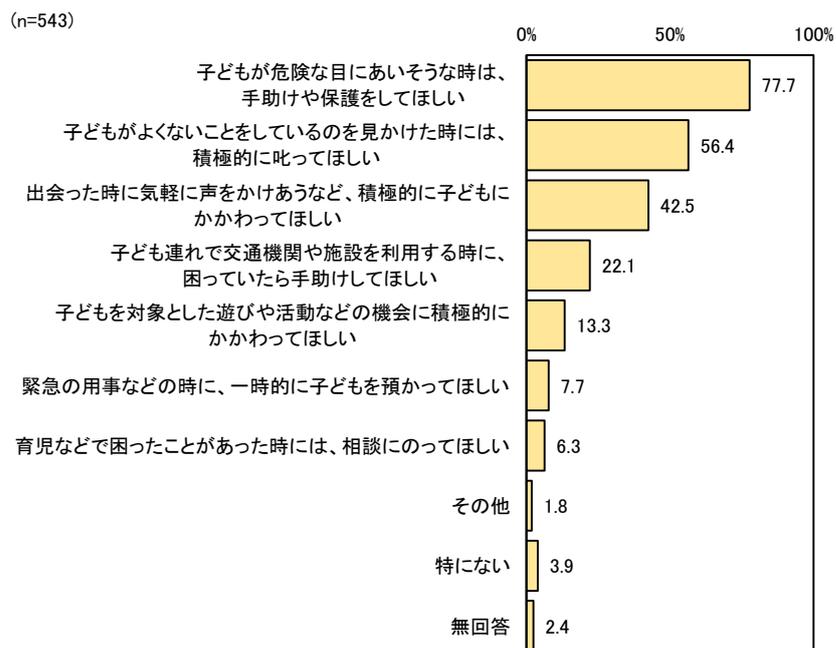
●子育てにおいて、近隣・地域の方にどのようなかかわり方をしてほしいか尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも「子どもが危険な目にあいそうな時は、手助けや保護をしてほしい」を最も多く挙げているほか、上位の回答は共通しています。

子育てにおいて、近隣・地域の方にどのようなかかわり方をしてほしいか（3つまでに○）

①就学前児童



②小学生



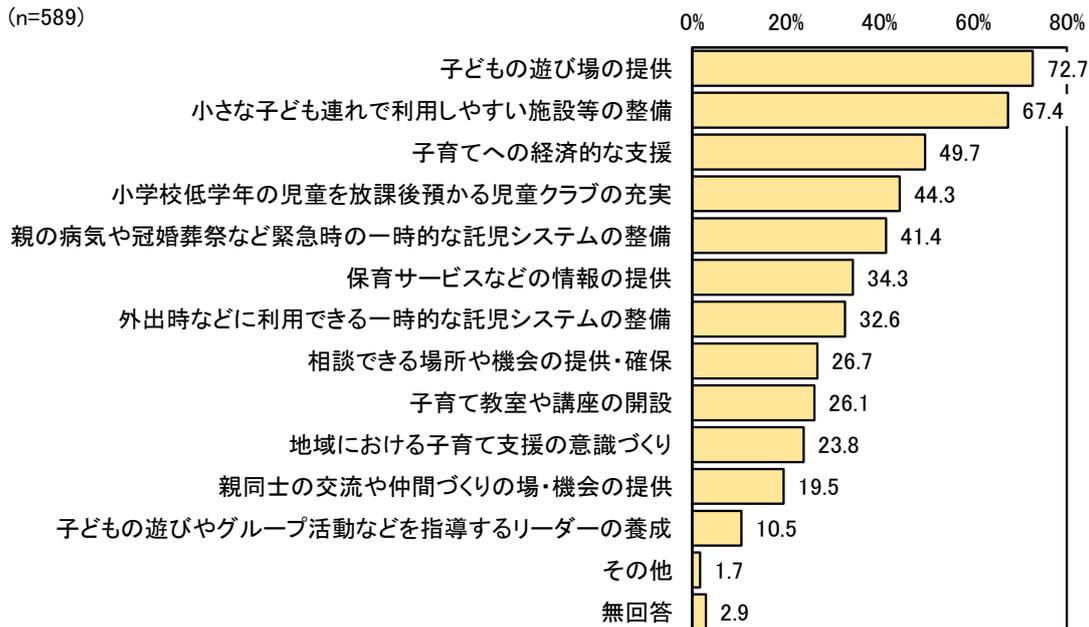
⑪ 希望する子育て支援施策

●今後希望する子育て支援策を尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも「子どもの遊び場の提供」を最も多く挙げているほか、上位の回答は共通しています。

今後希望する子育て支援策（あてはまるものすべてに○）

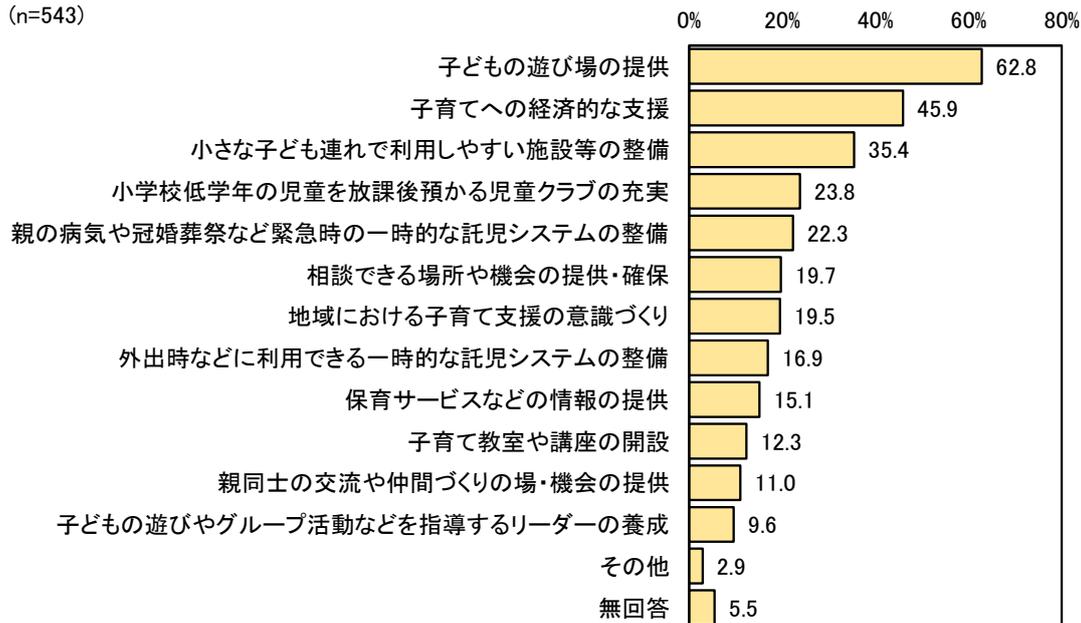
①就学前児童

(n=589)



②小学生

(n=543)



## 6 杉戸町の人口と児童数の将来推計

本町における人口動態の傾向から将来児童数を推計したところ、本町の子ども的人数は今後減少していく見通しであり、計画最終年となる2024年（令和6年）における就学前児童及び小学生は3,225人と、2019年に比べて500人以上減少する見込みです。

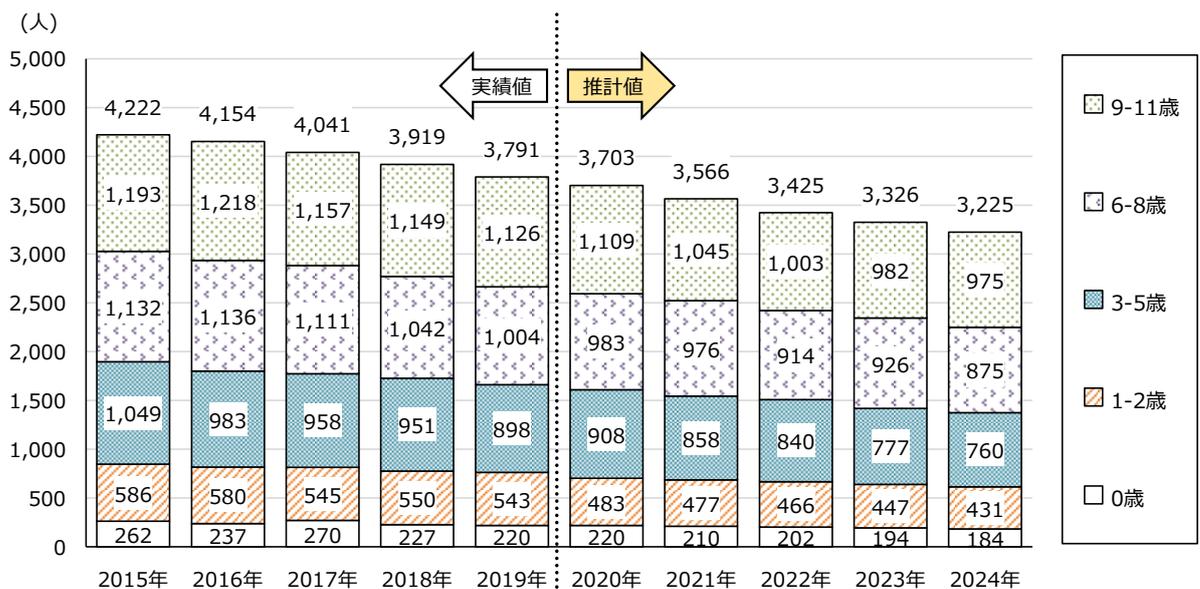
年齢区分別にみると、令和6年における0～5歳の就学前児童数は、平成31年から286人減の1,375人と見込まれます。また、令和6年における6～11歳の小学校児童数は、平成31年から280人減の1,850人と見込まれます。

### ■児童数の見込み

年齢	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
0歳	262	237	270	227	220
1歳	272	285	254	287	240
2歳	314	295	291	263	303
3歳	329	325	301	305	270
4歳	326	331	331	309	316
5歳	394	327	326	337	312
6歳	384	395	330	323	342
7歳	344	389	393	332	327
8歳	404	352	388	387	335
9歳	390	407	353	387	383
10歳	413	397	409	350	390
11歳	390	414	395	412	353
0-5歳	1,897	1,800	1,773	1,728	1,661
6-11歳	2,325	2,354	2,268	2,191	2,130
0-11歳	4,222	4,154	4,041	3,919	3,791

年齢	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0歳	220	210	202	194	184
1歳	234	234	223	215	207
2歳	249	243	243	232	224
3歳	314	258	252	252	241
4歳	277	322	265	259	259
5歳	317	278	323	266	260
6歳	314	319	280	326	268
7歳	343	315	320	281	327
8歳	326	342	314	319	280
9歳	334	325	341	313	318
10歳	384	335	326	342	314
11歳	391	385	336	327	343
0-5歳	1,611	1,545	1,508	1,418	1,375
6-11歳	2,092	2,021	1,917	1,908	1,850
0-11歳	3,703	3,566	3,425	3,326	3,225

資料：平成27年～平成31年は住民基本台帳による実績値。



各年4月1日現在